



SCB

# ニュース&トピックス

No.2024-114

(2024. 12. 27)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

とね かずゆき  
上席主任研究員 刀禰 和之

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

## 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-10）

- 店舗の建替え計画等「事前課題の集計結果」 -

### ポイント

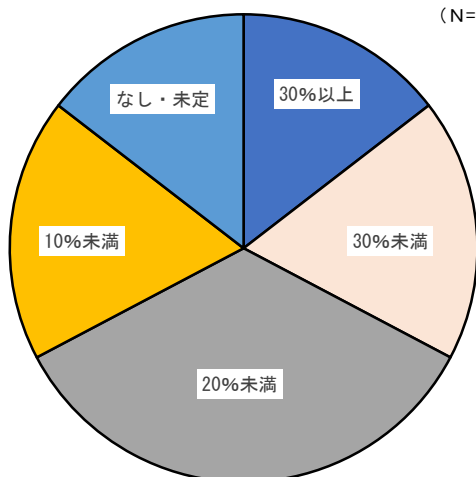
- 本稿は当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果となる（回答数は55金庫）。
- 研修受講金庫の85.4%が10年以内の店舗建替え計画を有し、全店舗に占める建替え計画店舗の割合も15.8%となった。
- 建替えにあたっては、移転出店や僚店統合に加え、将来の市場規模に見合ったコンパクト化（軽量化）の検討も必要とのコメントが多かった。
- 稼働状況や利用件数を勘案し店内ATM設置台数の削減に取り組む研修受講金庫がある一方で、トラブル対応などから『複数台の設置を継続する』との声も根強かった。

（注）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果をまとめたものである。

### 1. 10年以内の店舗建替え計画

老朽化した店舗の建替えが「待ったなし」の信用金庫は多いと言われる。そこで当研修の事前課題では「10年以内に建替え等が必要な店舗数」を確認した。集計結果をみると、研修受講金庫の85.4%（47金庫）で対象店舗ありとの回答だった（図表1、2）。全店舗に占める建替え対象の店舗割合は15.6%となる。信用金庫別では、①30%以上が14.1%（8金庫）、②20%以上30%未満が18.1%（10金庫）、③10%以上20%未満は34.5%（19金庫）などとなった。なお、地域や預金規模による目立った違いは確認されず、これまでの店舗戦略などが建替え計画に影響していると考えられる。

（図表1）10年以内に建替え等が必要な店舗割合 （図表2）事前課題の概要等



質問事項	【店舗の建替え等】 ①10年以内に建替え等が必要な店舗数 ②建替え時の考え方 ③店内ATMの設置
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
その他	構想段階の案件等で構わない。
参考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 店舗建替え時の考え方

店舗建替え時の検討項目には、①近隣好立地への移転出店、②僚店との統合の可否などがあり、必要に応じて③将来の市場規模に見合ったコンパクト化（軽量化）も重要なテーマに位置付けられる。信用金庫にとって店舗の建替えは、既存の店舗網や人員配置を最適化するチャンスであり、また、顧客説明が相対的に容易なことなどから前向きに捉えるコメントもみられた。

## 3. 店内ATMの設置

事前課題では店内ATMの設置状況（今後の設置台数の見直しなど）もヒアリングした。稼働状況や利用件数に基づき店内ATM設置台数の削減や稼働時間の見直しなどが、研修受講金庫の間で活発であった。その一方で、トラブル発生時の対応や繁忙日時の顧客利便性確保の観点から、店内ATMの複数台設置を維持する意向の信用金庫も一定数あり、研修受講金庫によって対応方針が分かれた。

## 4. 研修受講金庫のコメント

研修受講金庫による事前課題の主なコメントは図表3のとおりである<sup>1</sup>。

（図表3）研修受講金庫のコメント例（店舗建替えについて）

- 店舗の特性やエリアの成長性を考慮し、店舗建替え・移転時に僚店との統合を検討する。
- 店舗の建替えでは、顧客動線を踏まえた移転を検討する。また今後のペーパーレス進展やキャッシュレス社会の到来から金庫室の廃止など店舗のコンパクト化にも取り組んでいく。
- 当金庫は、市場動向を見極めつつ支店の出張所化やサテライト化を進めるが、現在の店舗数を維持する基本方針があるため、建替え時の僚店統合の検討は行わない。
- 老朽化の進行が激しい店舗から優先的に建て替える計画である。僚店間の距離が近い店舗については店舗内店舗による統合案も今後の検討課題となる。
- 全体的な店舗配置網の見直しを前提に、災害に強く・地域に求められる店舗、異業種とのコラボ店舗などを検討する。
- 新たなまちづくり（自治体の施策・事業）への参画を通じた店舗の建替えを考えるため、街並みに適した店舗づくりなどを目指す。
- 店舗の建替えに合わせて店内レイアウトの標準化に取り組んでいる。具体的には窓口カウンターを廃止し、顧客との距離が近い相談しやすいレイアウトを志向する。
- 店舗の建替えは、時代遅れになった営業体制を見直すチャンスであり、時間をかけて市場環境の変化に見合った店舗配置や人員体制に修正していく。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

<sup>1</sup> 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。